

AsahiKASEI

# 2023年度第1四半期 決算説明資料

2023年8月3日

旭化成株式会社

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## 2023年度 第1四半期実績

- 売上高は「住宅」、「ヘルスケア」が堅調に推移したが、「マテリアル」で中国を中心とした想定以上の需要減速や市況下落の影響を受けて、前年同期比で減収
- 営業利益は「マテリアル」で需要減速や市況下落の影響を受けた他、「ヘルスケア」の医薬・医療事業において買収影響や費用増加の影響などを受けて、前年同期比で減益。ただし、前回予想に対して想定通りの進捗

## 2023年度 上期業績予想

- 第2四半期の「マテリアル」の経営環境の改善が弱いことなどから、前年同期比で減収・減益を見込む。ただし、「住宅」や「ヘルスケア」は前回予想を上回る業績を見込む
- 下期にかけて全体的に需要や市況が改善していく見方は変わらないが、前回想定よりはスローペース
- 原燃料コストの価格転嫁、製造原価低減に加え、在庫圧縮や販管費削減など収益体質の強化に取り組む
- 事業ポートフォリオにおいて、構造転換の検討を加速させるとともに、投資の着実な刈り取りや採算性の精査を徹底した上で、成長牽引事業の投資を進める

## 株主還元

- 先の見通しが難しい経営環境だが、中間配当は株主還元方針を踏まえ、18円を予想（変更なし）

## 中計の 取り組みの進捗

- さらなる事業の拡大を図るため、米国マサチューセッツ州・チェルムズフォードに「ヘルスケア」の本部を設置
- 旭化成のDXの取り組みが評価され、3年連続で「DX銘柄」に選定

# 1. 2023年度第1四半期実績

売上高は、「住宅」、「ヘルスケア」が堅調に推移したが、「マテリアル」で中国を中心とした想定以上の需要減速や市況下落の影響を受けて、前年同期比で減収

営業利益は、「マテリアル」で需要減速や市況下落の影響を受けた他、「ヘルスケア」の医薬・医療事業において買収影響や費用増加の影響などを受けて、前年同期比で減益。ただし、前回予想に対して想定通りの進捗

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の減益に加え、持分法投資損益の減少などにより、前年同期比で減益

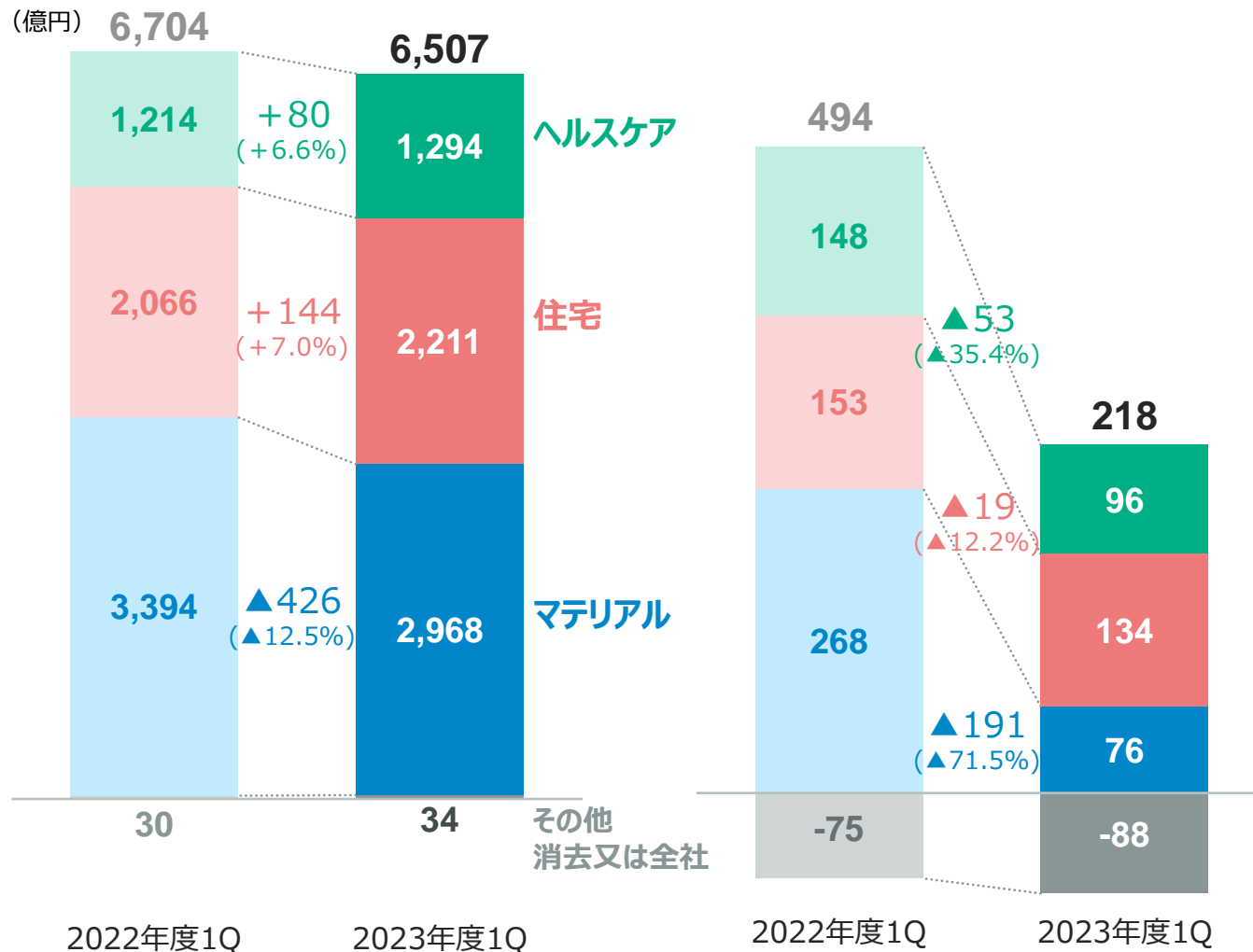
		2022年度1Q	2023年度1Q	増減額	増減率
売上高	(億円)	6,704	6,507	-197	-2.9%
営業利益	(億円)	494	218	-276	-55.9%
売上高営業利益率		7.4%	3.3%		
のれん償却前営業利益		578	288	-290	-50.2%
EBITDA	(億円)	905	655	-250	-27.6%
売上高EBITDA率		13.5%	10.1%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	(億円)	298	96	-202	-67.8%
相場平均為替レート (USD)		130円	137円		
相場平均為替レート (ユーロ)		138円	149円		
国産ナフサ価格		86,100円/kl	67,500円/kl		

## 売上高 前年同期比

▲197億円（▲2.9%）

## 営業利益 前年同期比

▲276億円（▲55.9%）



## ヘルスケア

## 増収・減益

- 医薬・医療事業は、活動強化に伴う販管費の増加やBionovaの新規連結に伴うマイナス要因等により、減益
- クリティカルケア事業は、除細動器の製品構成差による利益率低下の一方、LifeVestの保険償還状況の改善等により利益は前年同期並み

## 住宅

## 増収・減益

- 建築請負部門は、平均単価の上昇が進んだものの、資材価格の高騰や工事数量の減少により、減益
- 北米事業は、工事数量の減少に加え、木材市況下落に対し高い売値を維持できた前年同期に対して、利益率が低下し、減益

## マテリアル

## 減収・減益

- 基盤マテリアル事業は、需要減速による販売量の減少や市況下落による在庫受払差などにより、減益
- ライフインベーション事業は、需要減速による販売量の減少により、減益

前年同期比の  
主な増減要因

販管費

円安により海外子会社の販管費の換算額が増加した他、新規連結因などにより増加

営業外損益

PTT旭ケミカルの収益悪化等により持分法投資損益が悪化

特別損益

政策保有株式売却益の減少等により悪化

(億円)

	2022年度1Q		2023年度1Q		増減額	増減率
		売上高比率		売上高比率		
売上高	6,704	100.0%	6,507	100.0%	-197	-2.9%
売上原価	4,645	69.3%	4,643	71.3%	-2	-0.0%
売上総利益	2,060	30.7%	1,864	28.7%	-195	-9.5%
販管費	1,566	23.4%	1,647	25.3%	81	5.1%
営業利益	494	7.4%	218	3.3%	-276	-55.9%
営業外損益	22		-4		-26	
(内、持分法投資損益)	(16)		(-3)		(-19)	
経常利益	515	7.7%	214	3.3%	-302	-58.5%
特別損益	-19		-24		-5	
税前利益	496	7.4%	190	2.9%	-306	-61.7%
法人税等	-196		-88		108	
非支配株主に帰属する四半期純利益	-1		-6		-5	
親会社株主に帰属する四半期純利益	298	4.4%	96	1.5%	-202	-67.8%

政策保有株式売却益の減少等により悪化

	(億円)		
	2022年度1Q	2023年度1Q	増減額
投資有価証券売却益	22	7	-15
固定資産売却益	6	1	-5
特別利益	28	8	-20
投資有価証券評価損	10	-	-10
固定資産処分損	12	13	2
減損損失	0	0	-0
火災損失	16	-	-16
事業構造改善費用	9	19	10
特別損失	47	32	-15
特別損益	-19	-24	-5

<b>総資産</b>	円安に伴い海外子会社の資産が増加したことに加え、現金及び預金残高が増加
<b>負債</b>	有利子負債の増加に加え、円安に伴い海外子会社の負債が増加
<b>純資産</b>	配当金の支払いにより利益剰余金が減少した一方、円安によりその他の包括利益累計額が増加

	2023/3月末	2023/6月末	増減額
流動資産	14,882	15,528	646
現金及び預金	2,512	3,079	567
受取手形、売掛金及び契約資産	4,427	4,398	-29
棚卸資産	6,426	6,586	160
その他	1,518	1,466	-52
固定資産	19,657	20,523	866
有形固定資産	8,717	8,988	271
無形固定資産 <sup>*1</sup>	7,362	7,770	408
投資その他の資産	3,578	3,764	186
<b>資産合計</b>	<b>34,539</b>	<b>36,051</b>	<b>1,512</b>
のれん残高 <sup>*1</sup>	3,486	3,709	224
有利子負債 <sup>*2</sup>	9,395	10,361	966
D/Eレシオ	0.57	0.59	0.03

	2023/3月末	2023/6月末	増減額
負債	17,585	18,184	599
流動負債	9,122	9,121	-1
支払手形及び買掛金	1,806	1,595	-211
その他	7,316	7,526	210
固定負債	8,464	9,064	600
純資産	16,954	17,867	913
株主資本	13,175	13,025	-149
資本金	1,034	1,034	-
資本剰余金	798	803	4
利益剰余金 <sup>*1</sup>	11,417	11,263	-154
自己株式	-74	-74	-0
その他の包括利益累計額	3,428	4,487	1,059
非支配株主持分	351	355	4
<b>負債純資産合計</b>	<b>34,539</b>	<b>36,051</b>	<b>1,512</b>

\*1 2022年10月31日付（米国東部時間）で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2023年3月末の連結貸借対照表に計上した金額を遡及修正している。

\*2 リース債務除く



## 営業CF

税金等調整前四半期純利益が減少したものの、運転資金需要や法人税支払いの減少等があり、キャッシュ・インに転じた

## 投資CF

前年同期のBionova買収の影響が無くなったことからキャッシュ・アウトが減少

## 財務CF

資金調達が増加したこと等によりキャッシュ・インが増加

	(億円)		
	2022年度1Q	2023年度1Q	増減額
a. 営業活動によるキャッシュ・フロー	-401	302	703
b. 投資活動によるキャッシュ・フロー	-821	-551	270
設備投資による支出	-388	-540	-152
M&A関連による支出	-422	-	422
その他	-10	-11	-0
c. フリー・キャッシュ・フロー (a+b)	-1,222	-249	973
d. 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,357	648	-710
e. 現金及び現金同等物に係る換算差額	201	168	-33
現金及び現金同等物の増減額 (c+d+e)	336	566	230

## 2. 2023年度上期業績予想

第2四半期の「マテリアル」の経営環境の改善が弱いことなどから、前年同期比で減収・減益を見込む。ただし、「住宅」や「ヘルスケア」は前回予想を上回る業績を見込む

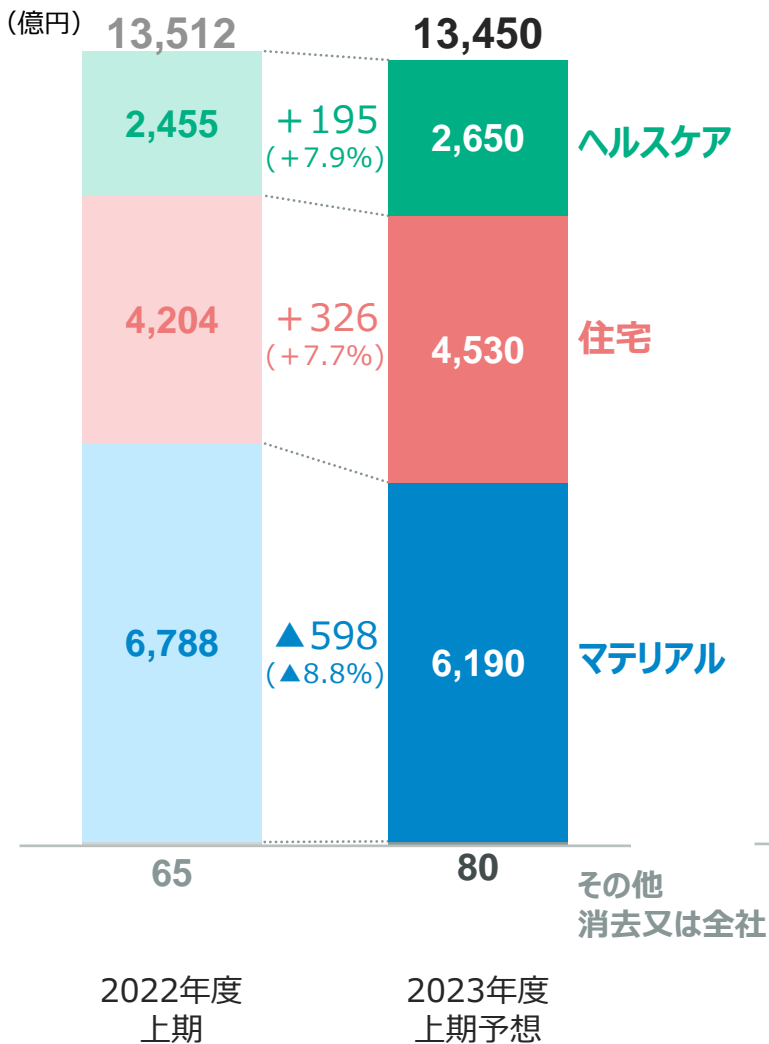
原燃料コストの価格転嫁、製造原価低減に加え、在庫圧縮や販管費削減など収益体質の強化に取り組む

		2022年度		2022年度 上期	2023年度		2023年度 上期予想	上期 対前年同期比 増減率	2023年度 上期前回予想 (2023年5月発表)
		1Q	2Q		1Q	2Q予想			
売上高	(億円)	6,704	6,808	13,512	6,507	6,943	13,450	-0.5%	13,600
営業利益	(億円)	494	364	858	218	242	460	-46.4%	515
売上高営業利益率				6.4%			3.4%		3.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(億円)	298	219	517	96	124	220	-57.5%	280
相場平均為替レート (USドル)		130円	138円	134円	137円	140円	139円		
相場平均為替レート (ユーロ)		138円	139円	139円	149円	150円	150円		
国産ナフサ価格		86,100円/kl	81,400円/kl	83,800円/kl	67,500円/kl	60,000円/kl	63,800円/kl		
1株当たり配当金		-	-	18円	-	-	18円		(予想)

# 2023年度上期業績予想 (セグメント別、前年同期比)

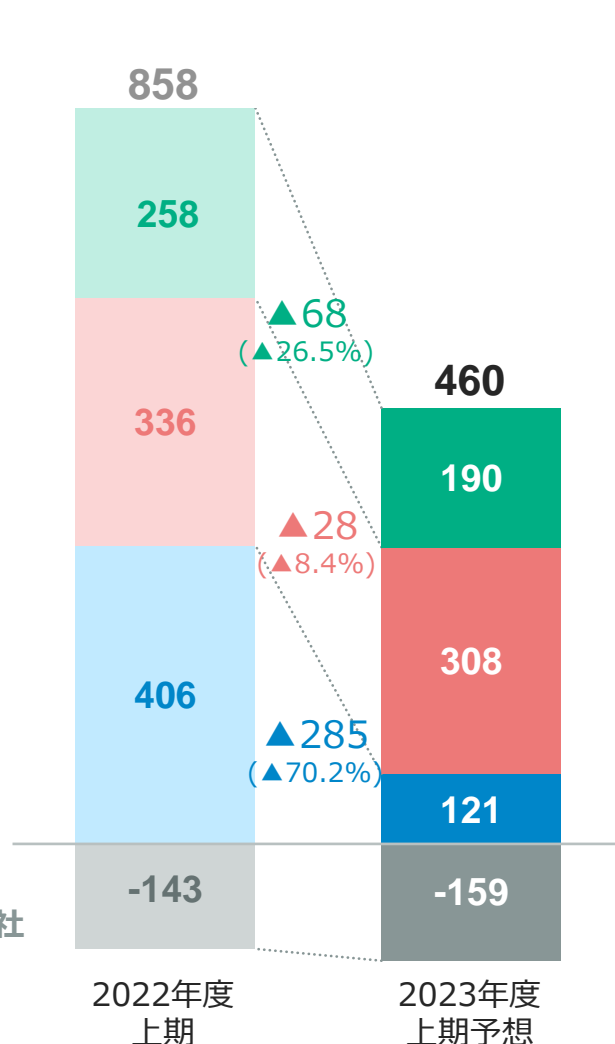
## 売上高 前年同期比

▲62億円 (▲0.5%)



## 営業利益 前年同期比

▲398億円 (▲46.4%)



## ヘルスケア

## 増収・減益

- 医薬・医療事業は、販管費の増加、原燃料価格上昇、Bionovaの新規連結に伴うマイナス要因等により、減益
- クリティカルケア事業は、部材調達難の改善に伴うAEDの販売量増加により、増益

## 住宅

## 増収・減益

- 建築請負部門は、平均単価の上昇が進んだものの、資材価格の高騰や工事数量の減少により、減益
- 北米事業は、工事数量の減少に加え、木材市況下落に対し高い売値を維持できた前年同期に対して、利益率が低下し、減益

## マテリアル

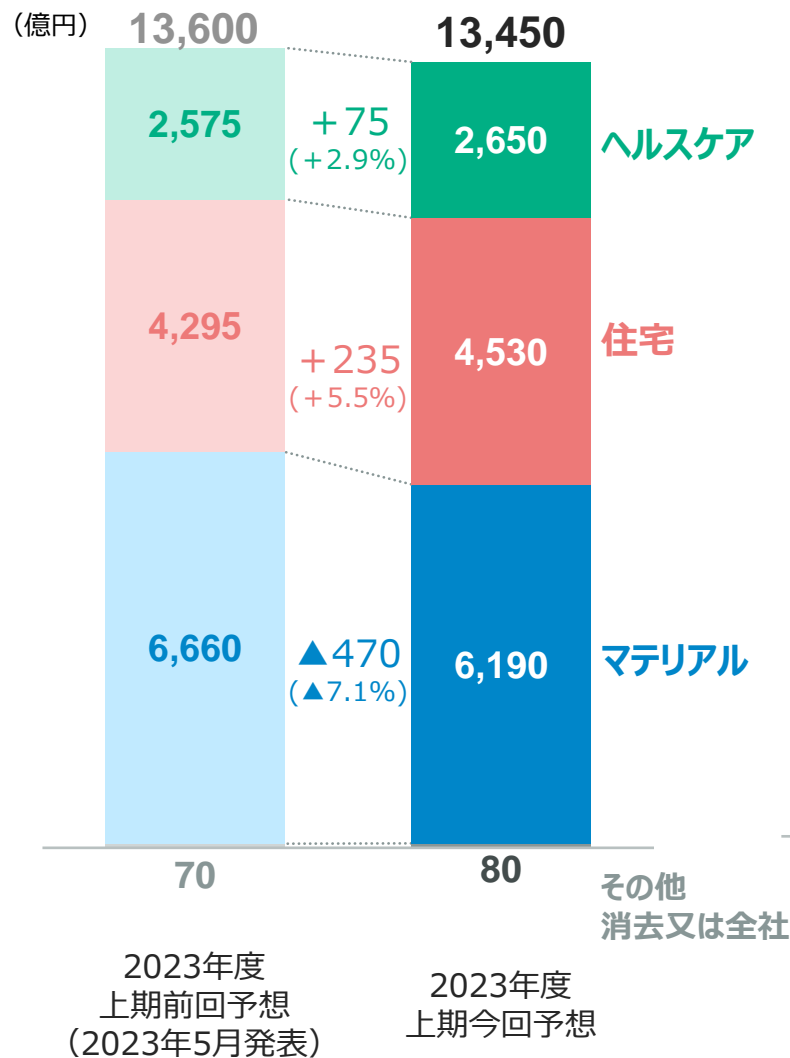
## 減収・減益

- 基盤マテリアル事業は、需要減速による販売量の減少や市況下落による在庫受払差、定修影響などにより、減益
- ライフイノベーション事業は、需要減速による販売量の減少により減益

# 2023年度上期業績予想 (セグメント別、前回予想比)

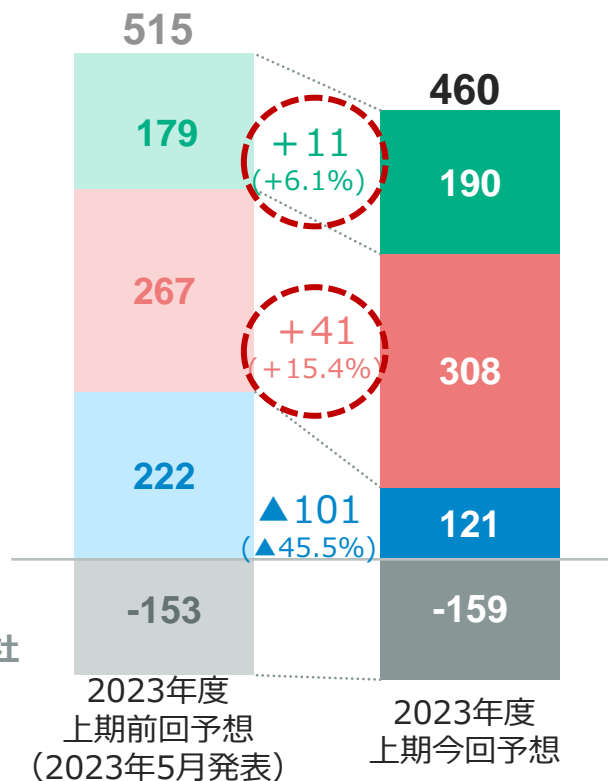
## 売上高 前回予想比

▲150億円 (▲1.1%)



## 営業利益 前回予想比

▲55億円 (▲10.7%)



## ヘルスケア

売上高・営業利益 上方修正

- クリティカルケア事業において、部材調達難の改善が想定以上に進み、AED中心に出荷が堅調に推移することなどから、上方修正

## 住宅

売上高・営業利益 上方修正

- 建築請負部門において、固定費が減少したことや、不動産部門において、一部分譲マンションの販売が想定より早まったことなどから、上方修正

## マテリアル

売上高・営業利益 下方修正

- 基盤マテリアル事業において、想定以上の需要減速による販売量の減少や市況下落による交易条件の悪化、在庫受払差等により、下方修正

### 3. セグメント別詳細

市況下落による売値因のマイナスを原燃料価格の低下による原燃料因や円安による為替因のプラスでカバーし交易条件は改善したが、需要減速による数量因やその他因（在庫影響、操業度等）のマイナスにより減益

## ■ 営業利益要因分析

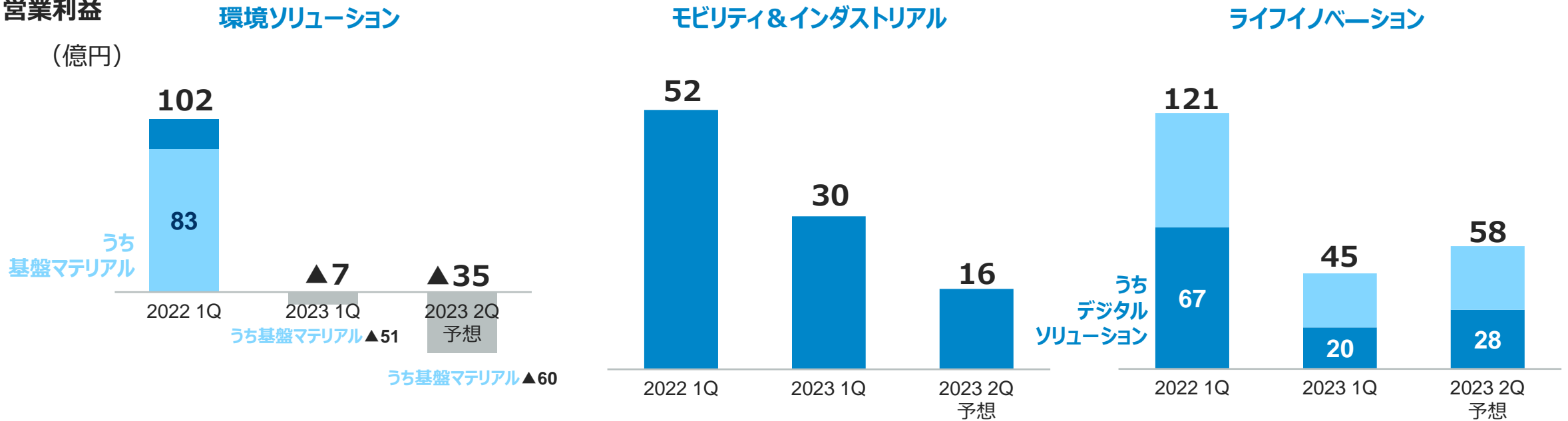


	売上高				営業利益									
	2022年度 1Q	2023年度 1Q	増減額	増減比	2022年度 1Q	2023年度 1Q	増減額	増減比	内訳					
									数量因	売値因 (除く為替)	原燃料因 (除く為替)	為替因 <sup>*1</sup>	その他因 <sup>*2</sup>	
<b>マテリアルセグメント</b>	3,394	<b>2,968</b>	-426	-12.5%	268	<b>76</b>	-191	-71.5%	-75	-104	99	37	-149	
環境ソリューション事業	1,499	<b>1,146</b>	-353	-23.6%	102	<b>-7</b>	-109	-	-33	-92	43	15	-43 <sup>*3</sup>	
うち 基盤マテリアル事業	1,001	<b>662</b>	-339	-33.8%	83	<b>-51</b>	-134	-	/	/	/	/	/	
モビリティ&インダストリアル事業	925	<b>918</b>	-7	-0.8%	52	<b>30</b>	-21	-41.0%	13	-28	9	13	-28	
ライフイノベーション事業	969	<b>903</b>	-66	-6.8%	121	<b>45</b>	-76	-62.6%	-55	16	-9	9	-37	
うち デジタルソリューション事業	342	<b>294</b>	-49	-14.2%	67	<b>20</b>	-47	-70.7%	/	/	/	/	/	
マテリアル共通	2	<b>2</b>	1	56.8%	-6	<b>8</b>	14	-	-	-	55 <sup>*3</sup>	-	-41	

\*1 売値因・原燃料因に関連する為替因 \*2 為替換算差、固定費差、在庫影響等 \*3 環境ソリューションの営業利益の「その他因」には社内売値差が含まれているが、マテリアル全体としては「原燃料因」に含まれるものであるため、要因分析の補正として、相当する額をマテリアル共通の「原燃料因」と「その他因」にそれぞれプラスとマイナスで含めて表示している

■ 営業利益

(億円)



主な事業		2023年度1Q vs 2022年度1Q (YoY)		2023年度2Q vs 2023年度1Q (QoQ)	
環境ソリューション	セパレータ	↗	操業度低下の影響があった一方、車載用途の販売量が増加したことや前年同期のPolypore減損に伴う広義ののれん（無形固定資産・のれん）の償却費の減少により、増益	↘	民生用途、車載用途共に販売量が増加する一方、固定費が半期末に集中するなどの影響により、減益を見込む
	基盤マテリアル	↘	需要が低迷したことを背景とした販売量の減少や在庫受払差等により、減益	↘	販売量が増加する一方、定修影響等により、減益を見込む
モビリティ&インダストリアル	自動車内装材	↗	自動車減産の影響からの改善を受けて販売量が増加したことに加え、交易条件の改善により、増益	↘	需要は堅調であるものの、季節要因や一部前倒し出荷があった影響による販売量の減少により、減益を見込む
	エンジニアリング樹脂	↘	自動車用途の需要改善を受けて販売量は増加した一方、家電やOA機器向け等の販売量の減少や交易条件の悪化により、減益	↗	自動車用途などの需要が改善することを受けて、販売量が増加し、増益を見込む
ライフイノベーション	デジタルソリューション	↘	電子機器・半導体市場の需要減を背景とした販売量の減少等により、減益	↗	電子機器・半導体市場の需要増を背景とした販売量の増加等により、増益を見込む



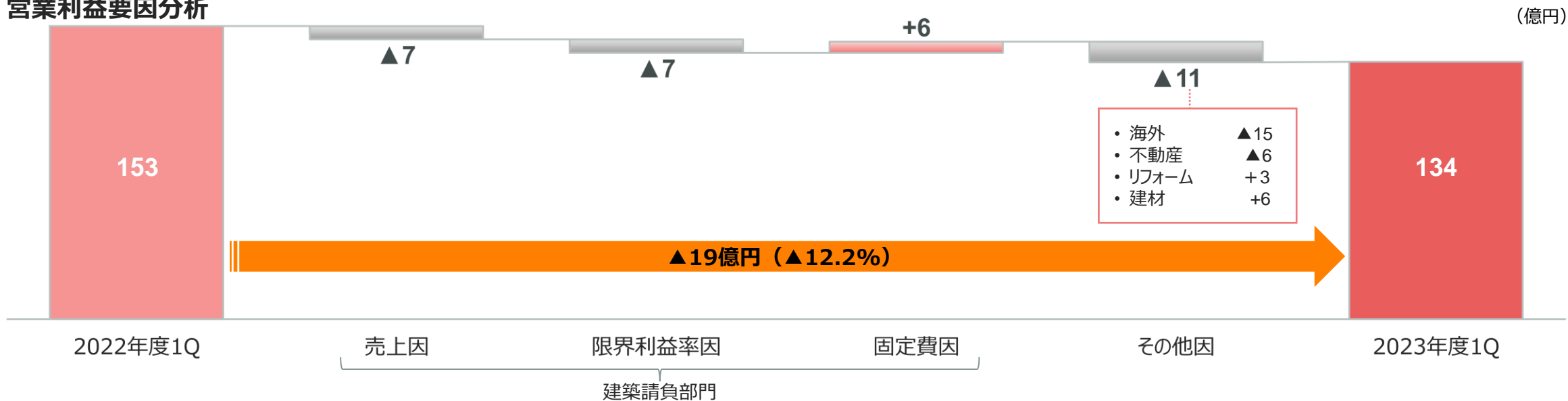
(億円)

売上高	2022年度		2022年度 上期	2023年度		2023年度 上期予想	1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2023年度 上期前回予想 (2023年5月発表)
	1Q	2Q		1Q	2Q予想		増減額	増減率	増減額	増減率	
<b>マテリアルセグメント</b>	<b>3,394</b>	<b>3,394</b>	<b>6,788</b>	<b>2,968</b>	<b>3,222</b>	<b>6,190</b>	<b>-426</b>	<b>-12.5%</b>	<b>-598</b>	<b>-8.8%</b>	<b>6,660</b>
環境ソリューション事業	1,499	1,414	2,913	1,146	1,284	2,430	-353	-23.6%	-483	-16.6%	2,850
うち 基盤マテリアル事業	1,001	873	1,874	662	778	1,440	-339	-33.8%	-434	-23.1%	1,800
モビリティ&インダストリアル事業	925	997	1,921	918	972	1,890	-7	-0.8%	-31	-1.6%	1,860
ライフイノベーション事業	969	983	1,952	903	957	1,860	-66	-6.8%	-92	-4.7%	1,950
うち デジタルソリューション事業	342	323	665	294	306	600	-49	-14.2%	-65	-9.8%	620
マテリアル共通	2	2	3	2	8	10	1	56.8%	7	222.4%	-

営業利益	2022年度		2022年度 上期	2023年度		2023年度 上期予想	1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2023年度 上期前回予想 (2023年5月発表)
	1Q	2Q		1Q	2Q予想		増減額	増減率	増減額	増減率	
<b>マテリアルセグメント</b>	<b>268</b>	<b>139</b>	<b>406</b>	<b>76</b>	<b>45</b>	<b>121</b>	<b>-191</b>	<b>-71.5%</b>	<b>-285</b>	<b>-70.2%</b>	<b>222</b>
環境ソリューション事業	102	24	125	-7	-35	-42	-109	-	-167	-	2
うち 基盤マテリアル事業	83	12	95	-51	-60	-111	-134	-	-206	-	-68
モビリティ&インダストリアル事業	52	39	91	30	16	46	-21	-41.0%	-45	-49.3%	63
ライフイノベーション事業	121	75	196	45	58	103	-76	-62.6%	-93	-47.4%	118
うち デジタルソリューション事業	67	38	105	20	28	48	-47	-70.7%	-57	-54.4%	71
マテリアル共通	-6	1	-6	8	6	14	14	-	20	-	39

建築請負部門は、数量減を大型化・高付加価値化へのシフトによる物件の平均単価の上昇によりカバーできず売上因がマイナスとなったことに加え、資材高騰の影響により限界利益率因がマイナスとなったこと等により減益

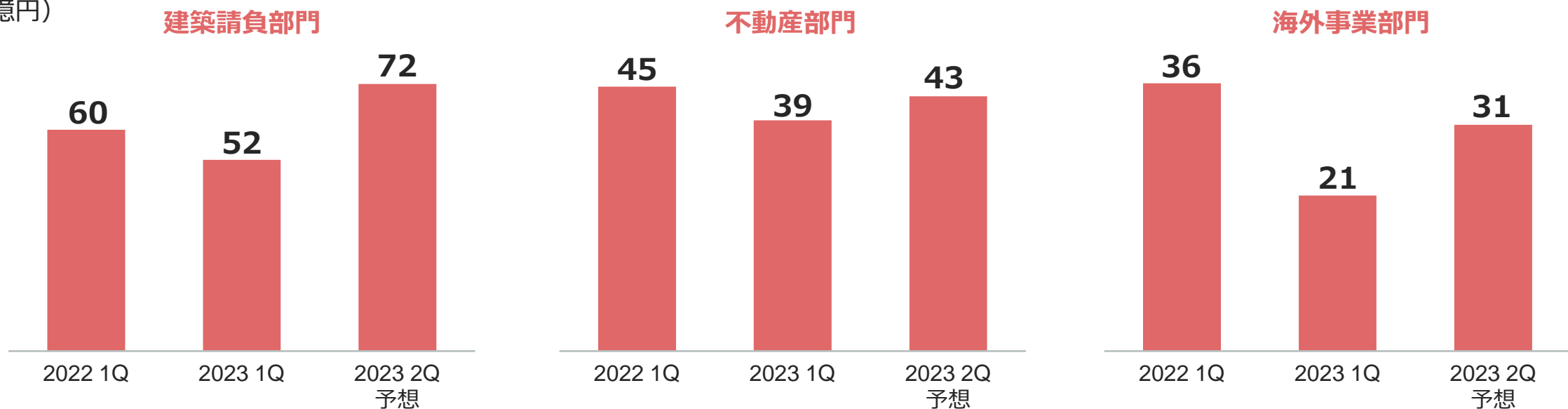
## ■ 営業利益要因分析



	売上高				営業利益							
	2022年度1Q	2023年度1Q	増減額	増減率	2022年度1Q	2023年度1Q	増減額	増減率	内訳			
									建築請負部門			その他因
売上因	限界利益率因	固定費因										
<b>住宅セグメント</b>	2,066	<b>2,211</b>	144	7.0%	153	<b>134</b>	-19	-12.2%	-7	-7	6	-11
住宅事業	1,975	<b>2,105</b>	130	6.6%	150	<b>125</b>	-24	-16.2%	-7	-7	6	-16 <sup>*1</sup>
建材事業	92	<b>106</b>	14	15.6%	3	<b>9</b>	6	184.6%	-	-	-	6

\*1 不動産、リフォーム、海外、その他

■ 営業利益  
(億円)



主な事業		2023年度1Q vs 2022年度1Q (YoY)		2023年度2Q vs 2023年度1Q (QoQ)	
住宅	建築請負部門	⬇️	物件の大型化・高付加価値化による平均販売単価の上昇が進んだが、資材価格高騰の影響と数量減少により、減益	⬆️	季節因により工事量が増加するため、増益を見込む
	不動産部門	⬇️	賃貸管理事業が順調に推移したが、分譲マンションの販売戸数が減少し、減益	⬆️	分譲マンションの販売戸数が増加し、増益を見込む
	海外事業部門	⬇️	豪州事業は天候不順の影響があった前年同期に対し工事量が増加し、増益。一方、北米事業は工事数量の減少に加え、木材市況下落に対し高い売値を維持できた前年度に対して利益率が悪化し、減益	⬆️	主に豪州事業において、価格転嫁した物件の工事が進捗することで利益率が改善し、増益を見込む

(億円)

売上高	1Q	2Q	2022年度 上期	2023年度 上期予想		1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2023年度 上期前回予想 (2023年5月発表)	
				1Q	2Q予想	増減額	増減率	増減額	増減率		
<b>住宅セグメント</b>	<b>2,066</b>	<b>2,138</b>	<b>4,204</b>	<b>2,211</b>	<b>2,319</b>	<b>4,530</b>	<b>144</b>	<b>7.0%</b>	<b>326</b>	<b>7.7%</b>	<b>4,295</b>
<b>住宅事業</b>	<b>1,975</b>	<b>2,035</b>	<b>4,010</b>	<b>2,105</b>	<b>2,205</b>	<b>4,310</b>	<b>130</b>	<b>6.6%</b>	<b>300</b>	<b>7.5%</b>	<b>4,080</b>
建築請負部門	951	1,015	1,966	942	973	1,915	-9	-0.9%	-51	-2.6%	1,910
不動産部門	417	394	811	403	472	875	-14	-3.4%	64	7.8%	830
リフォーム部門	121	140	261	126	149	275	5	4.1%	14	5.5%	280
海外事業部門	483	485	968	631	604	1,235	148	30.7%	267	27.6%	1,055
その他	3	1	4	2	8	10	-0	-12.9%	6	150.6%	5
<b>建材事業</b>	<b>92</b>	<b>103</b>	<b>194</b>	<b>106</b>	<b>114</b>	<b>220</b>	<b>14</b>	<b>15.6%</b>	<b>26</b>	<b>13.3%</b>	<b>215</b>

営業利益	1Q	2Q	2022年度 上期	2023年度 上期予想		1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2023年度 上期前回予想 (2023年5月発表)	
				1Q	2Q予想	増減額	増減率	増減額	増減率		
<b>住宅セグメント</b>	<b>153</b>	<b>183</b>	<b>336</b>	<b>134</b>	<b>174</b>	<b>308</b>	<b>-19</b>	<b>-12.2%</b>	<b>-28</b>	<b>-8.4%</b>	<b>267</b>
<b>住宅事業</b>	<b>150</b>	<b>179</b>	<b>329</b>	<b>125</b>	<b>165</b>	<b>290</b>	<b>-24</b>	<b>-16.2%</b>	<b>-39</b>	<b>-11.8%</b>	<b>260</b>
建築請負部門	60	102	162	52	72	124	-8	-13.7%	-38	-23.4%	112
不動産部門	45	31	75	39	43	82	-6	-12.8%	7	9.1%	70
リフォーム部門	9	16	25	11	17	28	3	34.4%	3	13.6%	28
海外事業部門	36	28	64	21	31	52	-15	-41.9%	-13	-19.6%	52
その他	0	2	3	2	2	4	2	770.1%	1	51.6%	-2
<b>建材事業</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	<b>9</b>	<b>9</b>	<b>18</b>	<b>6</b>	<b>184.6%</b>	<b>11</b>	<b>148.8%</b>	<b>7</b>

第1四半期の建築請負受注高は前年比で大きくマイナスとなったが、新たなマーケティング施策が進捗し、足元では改善傾向にある

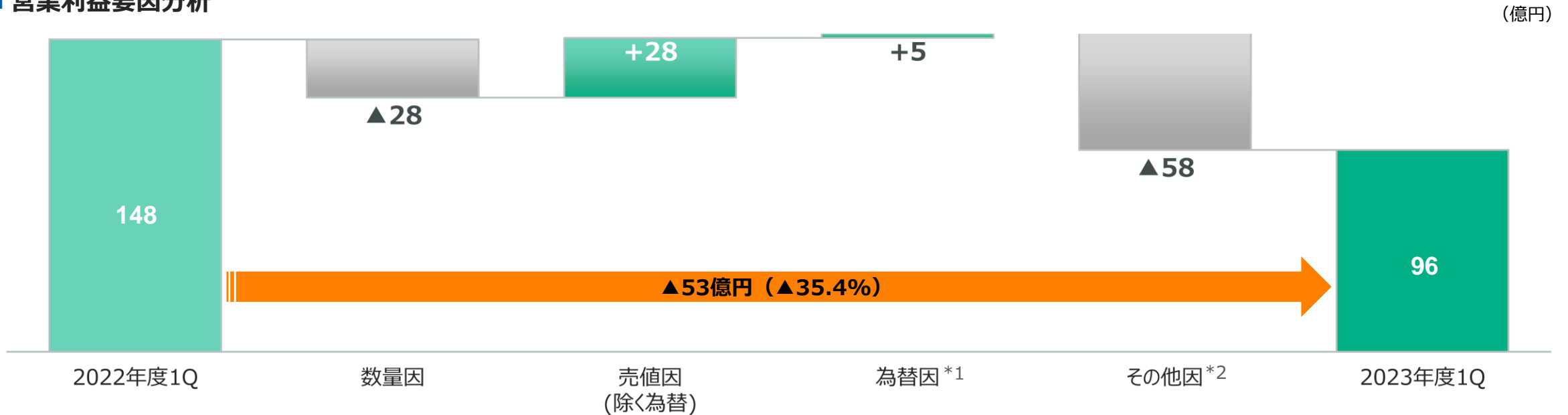
(単位：億円、( )内は対前年同期比)

		建築請負部門						不動産部門			
		受注		売上高				売上高 <sup>*1</sup>			
		受注高	受注残	戸建系	集合系	他	合計	開発	賃貸・仲介	合計	
2021年度	上期	2,063	(42.0%)	5,635	1,274	510	106	1,890	218	642	860
	下期	1,780	(-1.8%)	5,333	1,423	606	116	2,145	295	670	965
	<b>通期</b>	<b>3,843</b>	<b>(17.7%)</b>		<b>2,697</b>	<b>1,116</b>	<b>222</b>	<b>4,035</b>	<b>513</b>	<b>1,312</b>	<b>1,825</b>
2022年度	1Q	924	(1.3%)	5,468	630	271	49	951	78	340	417
	2Q	988	(-14.2%)	5,481	679	284	52	1,015	39	355	394
	上期	1,912	(-7.3%)		1,309	555	102	1,966	117	694	811
	下期	1,644	(-7.6%)	5,030	1,349	655	137	2,141	352	732	1,084
	<b>通期</b>	<b>3,556</b>	<b>(-7.5%)</b>		<b>2,658</b>	<b>1,210</b>	<b>239</b>	<b>4,107</b>	<b>469</b>	<b>1,426</b>	<b>1,895</b>
2023年度	1Q	772	(-16.4%)	5,090	551	324	66	942	36	367	403
	2Q予想	1,045	(5.8%)	5,207				973	89	383	472
	上期予想	1,817	(-5.0%)					1,915	125	750	875

\*1 不動産部門の売上高の内訳について、「開発事業」に分譲マンション事業等の売上高、「賃貸・仲介事業」に仲介事業と賃貸事業の売上高の合計値を表示するように変更している  
(2021年度までの売上高を遡って修正)

クリティカルケア事業で除細動器の価格転嫁が進展し、売値因でプラスとなった一方、除細動器の製品構成差による数量因のマイナス影響や、医薬・医療事業でのBionova新規連結による減益影響、販管費増加等に伴うその他因のマイナスにより減益

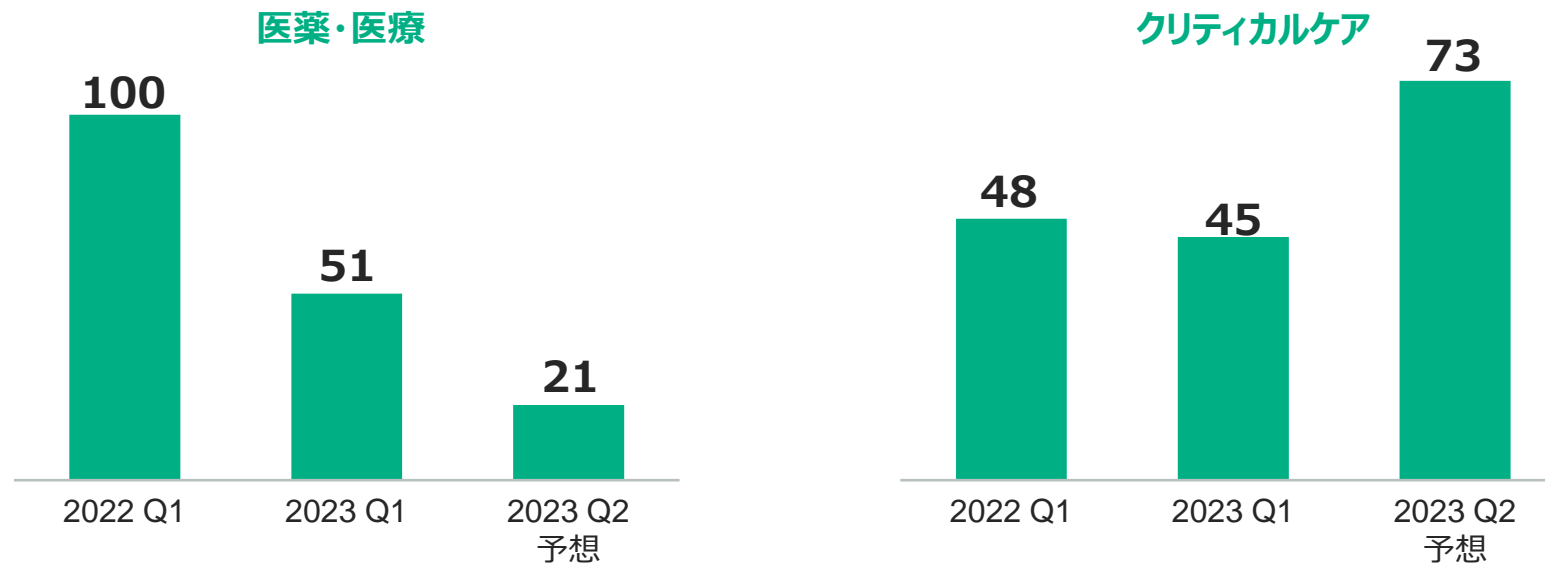
### ■ 営業利益要因分析



	売上高				営業利益							
	2022年度 1Q	2023年度 1Q	増減額	増減率	2022年度 1Q	2023年度 1Q	増減額	増減率	内訳			
									数量因	売値因 (除く為替)	為替因*1	その他因*2
<b>ヘルスケアセグメント</b>	1,214	<b>1,294</b>	80	6.6%	148	<b>96</b>	-53	-35.4%	-28	28	5	-58
医薬・医療事業	505	<b>511</b>	6	1.3%	100	<b>51</b>	-49	-49.0%	-5	4	1	-49
クリティカルケア事業	710	<b>783</b>	74	10.4%	48	<b>45</b>	-3	-7.0%	-23	24	4	-9

\*1 売値因に関連する為替因 \*2 為替換算差、固定費差、ライセンス・導入・導出等の一時収益・費用、新規連結等

■ 営業利益  
(億円)



主な事業		2023年度1Q vs 2022年度1Q (YoY)		2023年度2Q vs 2023年度1Q (QoQ)	
医薬・医療	医薬	⬇️	主要製剤の販売が堅調に推移したが、MR活動の強化など販管費が増加し、減益	⬇️	販管費や研究開発費が2Qにかけ増加することにより、減益を見込む
	医療	⬇️	Bionovaの新規連結による減益影響に加え、プラバが顧客の在庫調整による需要減退の影響を受けて販売量が減少し、減益	⬇️	販管費が2Qにかけ増加することより、減益を見込む
クリティカルケア	LifeVest	⬆️	保険償還状況の改善により、増益	⬇️	営業人員補充に伴い受注は回復傾向だが、1Qから2Qにかけては減収となることから、減益を見込む
	除細動器	⬇️	価格転嫁が進展した一方、製品構成差による減益影響により、減益	⬆️	販売量が増加することにより、増益を見込む

(億円)

売上高	2022年度		2022年度 上期	2023年度		2023年度 上期予想	1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2023年度 上期前回予想 (2023年5月発表)
	1Q	2Q		1Q	2Q予想		増減額	増減率	増減額	増減率	
ヘルスケアセグメント	1,214	1,241	2,455	1,294	1,356	2,650	80	6.6%	195	7.9%	2,575
医薬・医療事業	505	485	989	511	514	1,025	6	1.3%	36	3.6%	1,065
医薬事業	270	266	536	288	282	570	19	7.0%	34	6.4%	575
医療事業	235	218	453	222	233	455	-13	-5.3%	2	0.3%	490
クリティカルケア事業	710	756	1,466	783	842	1,625	74	10.4%	159	10.9%	1,510

営業利益	2022年度		2022年度 上期	2023年度		2023年度 上期予想	1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2023年度 上期前回予想 (2023年5月発表)
	1Q	2Q		1Q	2Q予想		増減額	増減率	増減額	増減率	
ヘルスケアセグメント	148	110	258	96	94	190	-53	-35.4%	-68	-26.5%	179
医薬・医療事業	100	45	146	51	21	72	-49	-49.0%	-74	-50.5%	89
クリティカルケア事業	48	65	113	45	73	118	-3	-7.0%	5	4.6%	90

EBITDA	2022年度		2022年度 上期	2023年度		2023年度 上期予想	1Q 前年同期比		上期 前年同期比		(参考) 2023年度 上期前回予想 (2023年5月発表)
	1Q	2Q		1Q	2Q予想		増減額	増減率	増減額	増減率	
ヘルスケアセグメント	296	275	572	264			-32	-10.9%			500
医薬・医療事業	158	113	272	121			-37	-23.7%			227
クリティカルケア事業	138	162	300	143			5	3.7%			273



(売上高の対象地域、単位)	2022年度		2023年度	1Q 前年同期比	
	1Q	上期	1Q	増減額	増減率
<b>&lt;旭化成ファーマ&gt;</b>					
テリボン (国内、億円)	104	207	96	-8	-7.9%
リコモジュリン ( " )	20	42	20	-1	-2.5%
ケブザラ ( " )	22	45	26	4	16.7%
リクラスト ( " )	3	7	3	-0	-6.1%
プラケニル ( " )	14	27	14	1	5.1%
<b>&lt;Veloxis&gt;</b>					
Envarsus XR (米国、百万ドル)	46	88	61	15	31.7%

一般名		薬効・分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン：PTH)	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
リコモジュリン	トロンボモデュリンアルファ (遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC (汎発性血管内血液凝固症)	注射剤
ケブザラ	サリルマブ (遺伝子組換え)	関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	注射剤
プラケニル	ヒドロキシクロロキン硫酸塩	免疫調整剤	皮膚エリテマトーデス、全身性エリテマトーデス	錠剤
Envarsus XR	タクロリムス徐放製剤	免疫抑制剤	腎移植	錠剤

		開発コード・剤型 (一般名)	薬効・分類	適応症	地域	自社/導入	備考
国内	販売開始 (FY23/1Q~)	A K 1 8 2 0・注、カプセル (イサブコナゾニウム硫酸塩)	深在性真菌症治療剤	真菌症	日本	導入	販売名 「クレセンバ」
	フェーズⅡ	A R T - 1 2 3・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え) )	血液凝固阻止剤	化学療法誘発性 末梢神経障害	日本	自社	効能追加 日米共同フェーズⅠ 実施中
	フェーズⅡ	A K 1 8 3 0・経口	慢性疼痛治療剤	変形性関節症に伴う 疼痛	日本	導入	
	フェーズⅡ			慢性腰痛症に伴う 疼痛			
海外	申請中	H E - 6 9・錠 (ミゾリビン)	免疫抑制剤	ループス腎炎 ネフローゼ症候群	中国	自社	効能追加
海外	フェーズⅢ	A R T - 1 2 3・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え) )	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	米国・欧州 他	自社	

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科や救急・集中治療などの領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ（アンメットメディカルニーズ）」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

## 4. 参考資料

(億円)

	2022年度1Q		2023年度1Q		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	海外売上高	海外売上高比率	海外売上高	海外売上高比率		
<b>マテリアルセグメント</b>	<b>2,041</b>	<b>60.1%</b>	<b>1,826</b>	<b>61.5%</b>	<b>-214</b>	<b>-10.5%</b>
環境ソリューション	852	56.9%	689	60.1%	-163	-19.1%
モビリティ&インダストリアル	738	79.8%	740	80.6%	2	0.3%
ライフイノベーション	449	46.3%	395	43.8%	-54	-12.0%
マテリアル共通	2	100.0%	2	99.2%	1	55.5%
<b>住宅セグメント</b>	<b>483</b>	<b>23.4%</b>	<b>631</b>	<b>28.6%</b>	<b>148</b>	<b>30.7%</b>
住宅	483	24.4%	631	30.0%	148	30.7%
建材	-	-	-	-	-	-
<b>ヘルスケアセグメント</b>	<b>943</b>	<b>77.7%</b>	<b>1,030</b>	<b>79.6%</b>	<b>87</b>	<b>9.2%</b>
医薬・医療	242	47.9%	258	50.5%	16	6.6%
クリティカルケア	701	98.8%	772	98.6%	71	10.1%
その他	3	11.0%	3	9.1%	-0	-5.4%
<b>合計</b>	<b>3,470</b>	<b>51.8%</b>	<b>3,491</b>	<b>53.6%</b>	<b>21</b>	<b>0.6%</b>

地域別海外売上高						
アジア	1,428	21.3%	1,172	18.0%	-256	-17.9%
（内、中国）	630	9.4%	587	9.0%	-43	-6.9%
米州	1,254	18.7%	1,370	21.1%	115	9.2%
欧州	420	6.3%	480	7.4%	60	14.2%
その他海外	367	5.5%	469	7.2%	102	27.8%

# 主なM&A案件（2022年4月以降）

セグメント	サブセグメント	企業名	事業内容	PL連結開始	買収金額	のれん発生額
住宅	住宅	Focus (Focus Plumbing LLC等5社)	北米における住宅の建築工事	2022年11月1日	362億円	128億円
ヘルスケア	医薬・医療	Bionova Holdings, Inc.	バイオ医薬品製薬企業への製造プロセス開発受託、抗体医薬品GMP製造受託、次世代抗体医薬品GMP製造受託	2022年7月1日	429億円	355億円

(億円)

	2020年度<組替後>				2021年度<組替後>				2022年度				2023年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q予想
<b>マテリアルセグメント</b>	<b>2,080</b>	<b>2,368</b>	<b>2,710</b>	<b>2,890</b>	<b>2,796</b>	<b>2,963</b>	<b>3,152</b>	<b>3,189</b>	<b>3,394</b>	<b>3,394</b>	<b>3,270</b>	<b>3,108</b>	<b>2,968</b>	<b>3,222</b>
環境ソリューション事業	890	951	1,065	1,237	1,191	1,290	1,373	1,372	1,499	1,414	1,368	1,318	1,146	1,284
うち 基盤マテリアル事業	537	559	644	771	724	823	902	900	1,001	873	887	859	662	778
モビリティ&インダストリアル事業	391	556	716	768	754	765	807	896	925	997	940	923	918	972
ライフイノベーション事業	799	859	927	883	850	905	971	919	969	983	960	865	903	957
うち デジタルソリューション事業	280	281	307	275	286	306	313	309	342	323	299	261	294	306
マテリアル共通	-0	3	2	2	0	3	2	2	2	2	2	2	2	8
<b>住宅セグメント</b>	<b>1,478</b>	<b>1,848</b>	<b>1,702</b>	<b>1,771</b>	<b>1,951</b>	<b>1,979</b>	<b>2,183</b>	<b>2,112</b>	<b>2,066</b>	<b>2,138</b>	<b>2,301</b>	<b>2,484</b>	<b>2,211</b>	<b>2,319</b>
住宅	1,391	1,753	1,610	1,694	1,872	1,886	2,085	2,022	1,975	2,035	2,195	2,388	2,105	2,205
建材	88	95	92	76	79	93	98	90	92	103	107	96	106	114
<b>ヘルスケアセグメント</b>	<b>957</b>	<b>1,092</b>	<b>1,030</b>	<b>1,000</b>	<b>1,058</b>	<b>1,001</b>	<b>1,070</b>	<b>1,030</b>	<b>1,214</b>	<b>1,241</b>	<b>1,286</b>	<b>1,228</b>	<b>1,294</b>	<b>1,356</b>
医薬・医療	365	378	407	394	428	426	468	421	505	485	545	468	511	514
クリティカルケア	592	714	623	606	630	575	603	609	710	756	741	760	783	842
その他	36	35	30	33	30	33	32	35	30	35	34	41	34	46
<b>合 計</b>	<b>4,552</b>	<b>5,342</b>	<b>5,473</b>	<b>5,694</b>	<b>5,834</b>	<b>5,976</b>	<b>6,437</b>	<b>6,366</b>	<b>6,704</b>	<b>6,808</b>	<b>6,892</b>	<b>6,861</b>	<b>6,507</b>	<b>6,943</b>

# 四半期営業利益推移

AsahiKASEI

(億円)

	2020年度<組替後>				2021年度<組替後>				2022年度				2023年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q <sup>*1</sup>	4Q <sup>*1</sup>	1Q	2Q予想
<b>マテリアルセグメント</b>	<b>80</b>	<b>110</b>	<b>209</b>	<b>230</b>	<b>311</b>	<b>275</b>	<b>298</b>	<b>176</b>	<b>268</b>	<b>139</b>	<b>81</b>	<b>-77</b>	<b>76</b>	<b>45</b>
環境ソリューション事業	19	44	82	130	143	145	138	62	102	24	-26	-122	-7	-35
うち 基盤マテリアル事業	-10	20	42	89	82	108	100	64	83	12	-42	-85	-51	-60
モビリティ&インダストリアル事業	-33	8	39	63	82	50	54	71	52	39	5	12	30	16
ライフイノベーション事業	82	66	90	55	102	89	108	49	121	75	77	6	45	58
うち デジタルソリューション事業	31	28	38	36	43	46	46	34	67	38	32	5	20	28
マテリアル共通	12	-8	-3	-18	-16	-11	-2	-6	-6	1	25	27	8	6
<b>住宅セグメント</b>	<b>106</b>	<b>209</b>	<b>164</b>	<b>152</b>	<b>151</b>	<b>181</b>	<b>223</b>	<b>173</b>	<b>153</b>	<b>183</b>	<b>185</b>	<b>233</b>	<b>134</b>	<b>174</b>
住宅	98	196	155	148	147	173	213	173	150	179	179	231	125	165
建材	10	13	11	0	4	8	10	0	3	4	6	1	9	9
<b>ヘルスケアセグメント</b>	<b>155</b>	<b>199</b>	<b>204</b>	<b>118</b>	<b>205</b>	<b>138</b>	<b>159</b>	<b>20</b>	<b>148</b>	<b>110</b>	<b>114</b>	<b>46</b>	<b>96</b>	<b>94</b>
医薬・医療	57	51	88	34	76	59	90	-7	100	45	79	5	51	21
クリティカルケア	98	148	117	84	129	78	69	27	48	65	35	41	45	73
その他	8	10	9	15	5	12	9	15	6	12	8	17	6	5
消去又は全社	-48	-61	-58	-92	-67	-79	-80	-98	-81	-79	-86	-102	-94	-76
<b>合 計</b>	<b>301</b>	<b>467</b>	<b>527</b>	<b>423</b>	<b>605</b>	<b>526</b>	<b>609</b>	<b>286</b>	<b>494</b>	<b>364</b>	<b>303</b>	<b>117</b>	<b>218</b>	<b>242</b>

\*1 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している

セグメント	サブセグメント	主な事業	
マテリアル	環境ソリューション	セパレータ	
		膜・システム	
		合成ゴム・エラストマー	
		<b>基盤マテリアル</b>	石化関連事業
	モビリティ&インダストリアル	自動車内装材	
		エンジニアリング樹脂	
		機能性コーティング	
	ライフイノベーション	<b>デジタルソリューション</b>	電子材料 電子部品 UVCプロジェクト
			添加剤
			化薬
		<b>コンフォートライフ</b>	感光材 繊維（衣料用途他）
			消費財
		旭化成アドバンス	
住宅		住宅	建築請負（戸建・集合）
			不動産（分譲マンション・賃貸管理）
	リフォーム		
	海外住宅（北米・豪州）		
	建材	建材	
ヘルスケア	医薬・医療	医薬（医療用医薬品） 医療（バイオプロセス・血液浄化）	
	クリティカルケア	救命医療機器（除細動器等）	



- 2022年10月31日付で買収を完了した米国Focus社の取得原価の配分が2023年度第1四半期に完了したことに伴い、2022年度の業績を遡って修正している
- <組替後>と表示している箇所では、過年度の実績について2022年度の開示区分変更を反映した数値を記載している
- 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している
- セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない
- EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（有形、無形、のれん）

## 2023年度第2四半期決算 決算発表予定日

2023年11月7日（火）